

国際社会学部—イベリア・ラテンアメリカ地域

諸文明が邂逅、衝突、混合する四つ辻

イベリア地域

ヨーロッパとアフリカ、地中海と大西洋のあいだに位置する四つ辻、出会いの場

イベリア（西南ヨーロッパ第 2 地域）の対象地域は、イベリア半島のスペインとポルトガルです。ヨーロッパの南西の角に位置するこの半島は、「ヨーロッパとアフリカ、地中海と大西洋のあいだに位置する四つ辻、出会いの場」となってきました。はるか昔からさまざまな人と文明がここに入り込み、対立しあいながらも豊かな文化を生み出してきたのです。中世にはキリスト教とイスラーム、ユダヤ教の三つの文化が「共存」しましたし、大航海時代にはアジア、アフリカ、アメリカとヨーロッパの異文化接触の場となりました。多様性に富む気候・風土、文化から生み出された多彩な文学・美術も魅力的です。近代化には遅れをとりましたが、激動の近現代を経て、製造業や観光業を軸に経済成長を果たしてきています。

大航海時代の海外進出という歴史的経緯から、現在もスペインとポルトガルは、ラテンアメリカやアフリカの諸国と、文化的にも経済的にも深い関係にあります。スペイン語もポルトガル語も世界各地に広がっており、第一言語話者数はそれぞれ約 5.5 億人と約 2.6 億人を数え、ともに世界でもっとも話者数の多い言語のベスト 10（スペイン語第 4 位、ポルトガル語第 9 位、2022 年）に入っています。その一方で、イベリア半島ではバスク語、カタルーニャ語、ガリシア語など多様な言語が話され、一部地域の公用語にもなっています。

ラテンアメリカ地域

文明の出会いと衝突が創り上げた民族・文化・社会の多様性と複雑性を理解しよう

本学のラテンアメリカ地域は、南北アメリカ（米国・カナダを除く）およびカリブ地域が対象です。独立国は大小合わせて 33 カ国、その他にも米国およびヨーロッパ諸国の海外領土が数多く存在しています。その魅力は何といても波乱に満ちた歴史と文化的多様性です。1492 年、スペインから西回り航路でアジアを目指したコロンブスがカリブ海の島々に到達したことがきっかけでアメリカ大陸が「発見」されたのはあまりにも有名ですが、ラテンアメリカの人々はこれを「発見」ではなく「出会い」と呼びます。なぜなら、アメリカ大陸には遥か紀元前の昔からメソアメリカ（現在のメキシコ～中米）地域やアンデス地域（現在のペルー・ボリビア）を中心に、数多くの高度な文明の栄枯盛衰の歴史があるからです。

16 世紀のスペイン・ポルトガルによるアメリカ大陸征服によって始まった 300 年間の植民地時代を経て、19 世紀前半に多くのラテンアメリカ諸国が独立を果たします。独立から 200 年を経過した現在では、新興大国 BRICS の一員として世界的に存在感を高めるブラジルや米国と国境を接するメキシコといった大国がある一方、カリブ海の島国ハイチといった世界の最貧国も存在しています。人種的には旧宗主国のイベリア 2 国に加え、様々な先住民族、混血（メスティーソ、ムラート等）、アフリカ系、さらに他の欧州系、日系を含むアジア系、中東系移民が複雑に入り混じっています。南米大陸を縦断するアンデス山脈に広大なアマゾン熱帯雨林と、自然も変化に富んでいます。



<https://ja.wikipedia.org/wiki/イベロアメリカ>



トレド風景（スペイン） 撮影：久米順子



マチュピチュ遺跡（ペルー）

By Alexson Scheppa Peisino - Own work, Public Domain, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1788047>

イベリア地域	ラテンアメリカ地域（の一部）				
 スペイン	 アルゼンチン	 ボリビア	 ブラジル	 チリ	 コロンビア
 ポルトガル	 キューバ	 メキシコ	 パナマ	 ペルー	 ベネズエラ
<p>このように、イベリア地域とラテンアメリカ地域は 500 年以上前に起きた「出会い」をきっかけに、現在でも政治・経済・歴史・社会・文化の様々な面で密接な関係を保ち続けています。</p>					